

(様式2)

支 部 事 業 報 告(富山6支部合同研修会)	開催日	2022年10月15日(土)
	時間	9:30～11:30
	場 所	看護研修センター
研修会名	令和4年度 富山県看護連盟富山6支部合同研修会	
参加対象者・参加人数	会員 非会員 その他() / 参加総数51名	
事業(研修)目的	看護連盟の役割を理解し、看護と政治のつながりを学ぶ	
主 催	富山県看護連盟西1・2支部	
研修方法	講演(○) 解説・説明(○)	

【内 容】

1.「看護連盟活動の課題」 解説・説明:富山県看護連盟会長 大井きよみ

第26回参議院選挙は看護職の賃金アップ実現選挙であるとの話から始まった。他の医療職と比較した看護職員の賃金は、明らかに伸びが悪い表のグラフ、医療職俸給表(三)の級別標準職務表など、今回の選挙では、友納理緒氏が国政の場で活躍していただくべく、私達看護師がより支援の輪を大きくすることが求められた選挙であった。しかし、参加者への選挙に対する意思確認を行ったところ、違和感を感じたとの意見も数人いたのが現実であった。今後、いかに自分達看護職の発展のため、患者さんのために、看護連盟員として尽力していくか重要である。

看護職を
国政に！3択で
挙手の場面

2.「認知症看護について」講師:富山城南病院看護教育主任認知症看護認定看護師 盛田大樹

研修のねらいは、1 認知症について 2 認知症に関する基礎知識及び入院による影響について理解する。 3 認知症高齢者の疼痛ケアについて学ぶことができる。

認知症に関しては、多くの方は様々な知識を持っていると思われるが、実際の現場ではその知識を持っても患者の看護に困惑する場面が多くある。そこで、認知機能障害を詳細に説明され、現場を振り返ることができる内容であり、多くの参加者のうなずく様子が見られた。その中でも、認知機能障害があっても、感情は最後まで保たれる。また、最後まで自分らしく生きたいと願っているという言葉が、強く心に残った。

また、認知症患者における疼痛の看護は、患者のセルフレポートできない方もおられ、痛みのアセスメントが重要であると説明があった。

最後に “対象を尊い存在として関わるのが認知症ケアの柱である”との言葉を投げかけられた。

スマートフォンで参加型
実際の現場をイメージ
しやすい講義内容！

まとめ:アンケートからは、政治と看護のつながりの大切さを改めて認識できたという言葉が複数見られた。しかし、実際の現場では賃金や働き方についての悩みもあるとの内容もあり、今後も連盟活動からより看護につながるよう働きかけていきたい。認知症看護は誰でも必ず一度は悩むことであり、何度講義を聞いても充分ということがない。今回、改めて基礎知識や対応のノウハウを学ぶことができ喜びの声も聞かれた。

今後も現場の声を取り入れた研修を実施していけるよう努めたい。